

# 新橋

2月の土曜夕方、鳥森神社近く。酎ハイ1杯100円で出す居酒屋は、年配の男性グループや背広姿の男性たちでにぎわっていた。声をひそめて話す3人。かつての総会屋、玉田大成(72)がいた。今も時々、新橋で情報を交換する。この日の話題は、20億円のもうけ話だった。

話を持ってきたのは、弟子の弟子にあたる男性。同席したゼネコンOBが話に乗ってくると、男性は「今度はこんな店じゃなくて銀座で飲もう」と玉田の肩を抱き寄せた。

ある企業の土地取引に暴力団が絡むことを追及し、そのビジネスを乗っ取る——。この話は当時、新橋を拠点にするフリージャンナリストたちの間で持ちきりで、詐欺話に使われているとも言っていた。

翌日、ゼネコンOBに取りをやめるよう忠告した玉田は言う。「会社をゆすつて金をもらおうとするジャーナリストやらプローカー

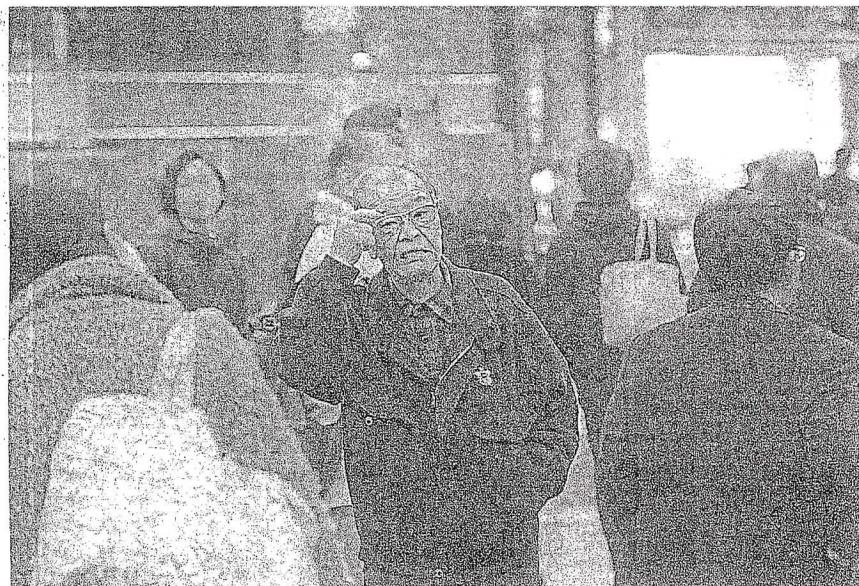
2月の土曜夕方、鳥森神社近く。酎ハイ1杯100円で出す居酒屋は、年配の男性グループや背広姿の男性たちでにぎわっていた。声をひそめて話す3人。かつての総会屋、玉田大成(72)がいた。今も時々、新橋で情報を交換する。この日の話題は、20億円のもうけ話だった。

話を持ってきたのは、弟子の弟子にあたる男性。同席したゼネコンOBが話に乗ってくると、男性は「今度はこんな店じゃなくて銀座で飲もう」と玉田の肩を抱き寄せた。

ある企業の土地取引に暴力団が絡むことを追及し、そのビジネスを乗っ取る——。この話は当時、新橋を拠点にするフリージャンナリストたちの間で持ちきりで、詐欺話に使われているとも言っていた。

翌日、ゼネコンOBに取りをやめるよう忠告した玉田は言う。「会社をゆすつて金をもらおうとするジャーナリストやらプローカー

## 弱みつかめ うごめく



新橋の街を歩く玉田大成さん=港区新橋2丁目

### サラリーマンの街

## 3

### 「最後の総会屋」のし上がった地



「あのころ広島から来た連中はケモノのような目をしどったよ」と玉田は話す。「広島グループ」と呼ばれた彼らは、それまでの総会屋地図を塗り替えてのし上がっていった。

毎週水曜、白倉は新橋のSL広場前で街宣車の上からマイクを握る。20年ほど続けていた。ねじり鉢巻きに作業着姿の理由は、「日本労働組合総連合会議員。サラリーマンにも親しみがわくでしょう」。午後6時、広場を行き交う人の

一つに、ニューニューブル内白倉が出入りする場所の飲食店がある。プローカーいやコンサルタント、ジャーナリストを名乗る男たちが、日々情報交換するための場でもある。「彼らの本質が相手の弱みにつけ込んで攻めるという意味では、源流は総会屋だろう」

小川の登場は、後を追う同業者の急増をもたらした。企業から流れ込む金は年間数百億円に膨らみ、国は利益供与を禁じる改正商法を82年に施行して一掃に乗り出す。

小川は度重なる逮捕の末、2009年に収容先の東京拘置所で71歳で死亡しました。6300人以上いたとされる総会屋は、姿をくらました。

(木原貴之)  
II 敬称略

波に語りかける。

77年6月、総会屋としてピーコを迎えていた小川は三菱電機の総会会場で襲われた。敵対一派の「防衛隊長」として襲撃を指揮したのが、26歳の白倉康夫。この事件で総会屋を廃業した

白倉は、63歳の今、情報誌「敬天新聞」の社主をする。

毎週水曜、白倉は新橋のSL広場前で街宣車の上からマイクを握る。20年ほど続けていた。ねじり鉢巻きに作業着姿の理由は、「日本労働組合総連合会議員。サラリーマンにも親しみがわくでしょう」。午後6時、広場を行き交う人の

同業者は、事件の端緒として警察や国税も一目置く。支えているのは内部告発だ。表に出さずに「解決」するものもあるが、「何が何でも金じゃなく、世に出非々で挑む」と白倉は言う。そんなネタを仕入れる